

臨地実習（がん看護学 / 高度実践コース）

[実習] 後期 必修 90時間 2単位

《担当者名》○平 典子[hiran@hoku-iryo-u.ac.jp]
熊谷 歌織 [kaori@hoku-iryo-u.ac.jp]
三津橋 梨絵[mitsuhashi@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

がん看護専門看護師の活動に参加し、高度で専門的な活動に対する理解を深めるとともに自己の課題を探究する。

【学修目標】

1. 専門看護師による直接ケア、コンサルテーション、調整、倫理調整、教育および研究役割について、臨床判断能力と包括的な実践力に注目し、これらがどのように行われているのか理解する
2. 専門看護師として、所属する組織やチームの特性、状況に応じて、どのような役割を担い活動しているのか理解する
3. がん看護専門看護師の役割を担うために、今後、自己の課題にどのように取り組むのか考察できる

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|------|---|----------------|
| | 実習方法 | <p>1. 臨地実習 の到達目標を踏まえ、自己の実習課題を明確にし、実習計画を立案する。</p> <p>2. 実習計画では、直接ケア、コンサルテーション、調整、倫理的調整、教育および研究役割を分析的に捉えるための視点を明らかにする。</p> <p>3. 実習指導者および教員の助言を得ながら、実習計画書に添って実習する。</p> <p>4. 実習指導者が医師とディスカッションする場に参画し、医学的判断と実習指導者による臨床判断を照合し、専門看護師としての臨床判断力を考察する。</p> <p>5. 実習記録については、各自で様式を作成する。日々実習内容や学びを整理し、適宜、実習指導者や教員から助言を得る。</p> <p>6. 中間カンファレンスの時期については、実習指導者、教員とともに調整し決定する。カンファレンスにあたって、実習生は実習での学び等について資料を作成する。</p> <p>7. 実習レポートの作成および提出に関しては、実習要項を参照する。</p> <p>主な実習場所 手稲溪仁会病院，斗南病院，K K R 医療札幌医療センター，北里病院</p> <p>実習期間 おおむね2週間とする。</p> | 平 熊谷 三津橋 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習課題の達成状況(50%)、レポート(50%)を総合的に評価する。

【教科書】

なし

【参考書】

随時提示する

【学修の準備】

既習の知識を復習し、関連資料および図書を熟読して臨む。